



第 113 号

発行 四條畷市民生委員
児童委員協議会

会長 石 原 欽 子

編集 民児協なわて広報部

子育て講演会



楽しくあそんでいるよ!



初春



イラストありがとう

小学校との交流会



田原小学校 (紙とんぼ)



東小学校 (折り紙)

市民の集い



オレンジリボンキャンペーン

民生委員・児童委員、民児協関係者が力を合せ「地域版 わが町ならでは」の取り組みを進めていくことが大切となっています。国においては、誰もが主体的に地域に参加し、ともに支え合い、助け合うことで安心して生活を送ることが出来る「地域共生社会」の実現に向けた取り組みを推進しております。

介護や子育て、障がい、病気などの困りごとを抱えておられたり、社会的に孤立している人や世帯を「丸ごと」の視点で見出し、相談機関、団体、住民と連携し「誰もが笑顔で暮らせる町づくり」をめざしてまいります。皆様方のご健勝を心から祈念申し上げます。



民生委員児童委員協議会

会長 石原 欽子

新年明けまして
おめでとございます。

皆様方におかれましては、お健やかに良いお正月をお迎えなされましたこと、心からお慶び申し上げます。

昨年は大阪で創設された「方面委員制度創設一〇〇周年」「民生委員法」が制定されてから七〇年を迎えました。大阪では今後の民生委員・児童委員活動の方向性を示すべく、スローガン「人々によりよい一〇〇年」これからも「地域をつなぐ、今後の活動の重点として」「地域のつながり、地域力を高める」、「さまざまな課題を抱えた人びとを支える」、「民生委員・児童委員制度を守り発展させていく」を掲げ、活動のさらなる充実をめざすこととしています。

年頭のごあいさつ

大阪府社会福祉大会

かんがるーKIDSに表彰状

11月30日(金)、大阪国際交流センターで大阪府福祉大会が開かれ長年地域福祉に貢献された個人、団体に感謝状、表彰状の授与と、高齢者施設や自治会の場で歌声を披露している四條畷田原かんがるーKIDSに子どもさわやか賞が授与されました。

サインシンガーソングライターの歌に感動!

講演では、サインシンガーソングライターの渡辺りえこ氏による話と歌、阪神大震災の体験を基にしたアニメが上映された。サインは手話と歌を組み合わせた新しい音楽活動のこと。

全く聞こえない両親のもとで育った彼女は、日本手話と日本語のバイリンガル女子だと自己紹介し、聞こえる文化と聞こえない文化の違いを解ってほしいと話された。聞こえない両親と話す時、うしろから声をかけるのでなくボディタッチや足を踏み鳴らしたり物を転がす事で気づいてもらい、目に見える会話「手話」で話すそうだ。

最後に「世界に一つだけの花」を手話で合唱。彼女のめざましい歌を聴いて、多くの人が暖かい気持ちで会場全体に広がった。

中村真知子



食物アレルギーについて

「子育て講演会開催」

10月24日(水)、総合センター会議室にて22組の親子参加のもと、寺嶋・塚田クリニックス小児科医、寺嶋秀幸先生より「食物アレルギーについて」の講演がありました。アレルギーの種類や原因、症状、対応法など詳しい説明があり、身近な病気にお母さんたちは熱心に講演を聞かれ、多くの質問もありました。民生委員が、子どもたちを預り、お母さん方も安心して話しを聞くことができ、お土産に折り紙を持ち帰っていただきました。

松岡俊生

「見える化プロジェクト活動報告会」

12月2日(日)、「民生委員・児童委員活動の見える化」プロジェクト活動報告会に参加しました。

民生委員・児童委員の活動を広く知ってもらい、担い手の確保を図るため、大学生を対象にした体験型イベント「見える化プロジェクト」を開催しました。

参加者13名、参加学生45名、参画自治体13市が、9つのグループに分かれて、地域力を高める施策提案、民生委員・児童委員の活動をPRする発信コンテンツの発表がされました。PRコンテンツは、さすが若い人

子育て講演会アンケート調査結果

Q1. 今回の【子育て講演会】が開催されることをどのようにして知りましたか。(複数回答可)

- 1. 市広報誌 29%
- 2. 地区掲示板 18%
- 3. 民生委員・児童委員から 14%

Q2. 今回の【子育て講演会】に参加しようと思った理由は何ですか。(複数回答可)

- 1. 講演会のテーマ 26%
- 2. 子どもをあずかってくれるから 20%
- 3. 無料だから 15%

Q3. 今回の【子育て講演会】で、どの程度満足いただけましたでしょうか。

Q4. 今回の【子育て講演会】に対して、Q3のように回答した理由をお書きください。

《満足79%》

- 普段聞けない話を学べたから
- アレルギーの対策として10年前との違いがよくわかりました
- 質疑応答ではとてもいいに答えてくださったのでとても分かりやすい説明でした
- 自分の知らないことが聞けてよかった
- あまりアレルギーに縁がなかったが、食物アレルギーがあると少しずつ食事をすすめていく過程がよくわかった
- 大変わかりやすく、実生活に役立つ内容だったため
- わからないことがたくさんあったのでいろんな情報をいただきました。等々

《やや満足21%》

- 新しい事が聞けて良かったです
- 新しい話を聞く事ができて、勉強になった
- 子どもを見てもらったので集中できました



の作成だと感心しました。報告後に参加者との盛んな意見交換がありました。このイベントに参加された大学生の皆様が、今後の活動に携わっていただけるものと期待しています。

松本初美

参加しました

第10回ボランティアフェスティバル

10月21日、市民活動センターで、協議会活動と地区活動パネルを展示し、

1,000名を超える方々の参加の中、啓発活動を行いました。



オレシロボンキャンペーン

10月21日 ボランティアアフエス

10月24日 ティバル(市民活動センター)

10月28日 子育て講演会(市民総合センター)

11月7日 児童虐待防止オレシロボンキャンペーン(西中学校)

11月7日 児童虐待防止オレシロボンキャンペーン(四條畷駅・忍ヶ丘駅)



以上4か所ので啓発グッズを配付しました。

なわて更生園まつり

10月21日、石原会長・生活福祉部会の方々が参加され四條畷福祉会なわて更生園にて、行われました。

研 修 報 告

「LGBTについて理解を深めるための研修」

11月21日(水)、定例会研修で、テーマは『あなたの身近にもいるLGBT(男女やLGBTだけじゃない！性のあり方は十人十色)』です。講師は井上鈴佳さん。元保健室の先生で自身もレズビアンを公表され、耳に心地よい声とやさしい言葉で話して下さいました。LGBTは多様な性



の頭文字をとって表現しています。性的マイノリティ(少数派)とマジョリティ(多数派)。見聞きしたことのある言葉ですが詳しく知る機会はありませんでした。生れた時の性別に違和感を持つ人、自分でどうすることもできない気持、少数派となると理解者がそばにいないと大変辛いことでしょう。この研修で誰もが自分らしく生きてほしい、もし悩んでいる人に気がついたら、相談できることや話せる人がいることを伝えたいと思いました。

南畑 幸子

事例研究会(グループワーク)

12月19日(水)、12月民生委員児童委員協議会定例会で、テーマ「認知症の方への関わりと支援について」。各小学校校区別に、7つのグループに分れて、事例をもとに、①事例の中で、Aさんが苦労していると思われる点は何ですか? ②事例の中で、民生委員にできることは何ですか? ③相談機関として、どのような施設・制度がありますか? について、活発な話

し合いがされ、最後に各グループより発表がされました。有意義な時間を過ごすことができました。



今後定期的にも、実施されれば良いと思います。

要援護者マップを関係機関と共有

11月26日(月)、四條畷市の全民生委員で作成した要援護者マップを石原会長が代表して、行政、社会福祉協議会、警察署、消防署、3箇所の地域包括支援センターの各長に手渡しました。

石原会長から趣旨説明と個人情報にかかわる取扱注意説明がされ、マップを受領した東修平市長を始め各機関・部署の長からは、感謝の言葉が述べられました。加えて各地域では独自に区長と自主防災会会長に手

渡されたいま要援護者マップを地域や関係機関と共有すること、災害時の避難・救出や日頃の安否確認に役立つことを願っています。



福田 徹

河北ブロック主任児童委員連絡会研修会

12月6日(木)、門真市民文化会館ルミエールホールにて、西成区にあるNPO法人「こどもの里」理事長、莊保共子氏を講師として、講演が行われました。

映画「さとにきたらええやん」が上映され、こどもの里での子どもたちや、集まってくる人たちのようすが映し出されました。親の日雇いという不安定雇用のため、貧困や不安定な生活を味わわれている子どもたちですが、「こどもの里」があることで、まわりの大人を元気にさせる。これが子どもの生きる力です。

だれが来ても受け入れてくれる「居場所」の重要性。地域ならではのぬくもりを感じました。

どのような環境で生まれても、「生まれよかた」と、人として生きていけるために、子どもの権利が保護される社会をめざしていると、締めくくられました。

地域のつながりの重要性和子どもたちの生きる力を学びました。



泉 葉子

民生委員・児童委員 活動記録

10月

- 理事会・定例会
- 子育て講演会
- テーマ「食物アレルギーについて」
- 小児科医 寺嶋秀幸氏
- ボランティアフェスティバル参加
- なわて更生園まつり参加
- 市内小学校運動会参加
- 市内中学校体育祭参加
- 「市民の集い」参加(親と子のむかし遊び)
- 主任児童委員活動
- 子育てサロン支援(毎月)
- 子関連定例会・研修(毎月)
- 四條畷市主任児童委員連絡会(毎月)
- 保健センター1歳半児検診(毎月)
- 民児協なわて12号発行
- 児童虐待防止(オレンジリボン)
- オレンジリボン
- キャンペーン協力
- 子育て講演会
- ボランティアフェスティバル
- 各会場で市民の集い

11月

- 理事会・定例会
- 研修
- テーマ「LGBTについての理解を深めるための研修」
- 講師 井上鈴佳氏
- 児童虐待防止街頭キャンペーン
- (オレンジリボン)
- 主任児童委員活動
- 要援護者マップ 関係機関との共有

12月

- 理事会・定例会
- 事例研究会(グループワーク)
- 河北ブロック主任児童委員会議
- 年末高齢者年賀状発送
- 「民生委員・児童委員活動の見える化」プロジェクト活動報告会参加

おめでとうございます

大阪府民生委員児童委員協議会連合会会長表彰

(平成30年度) 子どもさわやか賞

四條畷田原かんがるーKIDS

(2面に関連記事)

東小校区



コマ回し

11月21日(水)、東小学校でのお楽しみ交流会に参加しました。

お楽しみ交流会とは、おじいさん、おばあさんと一緒に昔遊びを通しての世代間交流会です。

今年、1年生の子どもたちと、あやとり・折り紙・けん玉・カルタ・コマ回し遊びをしながら色々な話が聞け、日ごろの子どもたちの様子が分かりました。

児童32名と少ない人数ですが、みんな仲よく、とても人懐っこい子どもたちでした。

最後に、主任児童委員が作ったメダルを全員の首にかけたら、とても嬉しそうにしています。

とても楽しい1時間を過ごしました。

北野 清美



カルタとり

田原小校区

11月7日(水)、田原小学校1年生の2クラスの子どもたちと校区の高齢者が、ヨーグルトの紙スプーンで竹とんぼならぬ紙とんぼを作りました。

開会式では、11月に生まれた子どもたちがくす玉を開きました。中から紙テープがくるくと落ちて来る様子を見続ける子どもたちの目が印象的でした。班ごとに分かれて最初に自己紹介をしました。これでお互いに名前や特技も分かり、ぐんと親しくなることができました。

とんぼそのものは毎年作っているのですが、大人は子どもたちに教えることができます。子どもたちは色を塗ったり、絵を描いたりしました。大人の協力を得て、よく飛ぶようにひねりをつけ、『世界に一つ』しかないとんぼができました。

そして飛ばしっこ。高く飛ぶ工夫や、長く飛ぶための重りつけなど、簡単な仕中ぎにさまざまな工夫を盛り込みました。

内藤 壽



開会式でくす玉を割る



自作の紙とんぼを飛ばす

地域の世代間交流会

市民の集い

10月28日(日)、市民の集いが西中学校で開催され、四條畷市民協会は新装の体育館で「親と子のむかし遊び」を担当しました。



親子で楽しく



東市長も色入れ

手作りの竹細工に色を塗って好みの作品に仕上げたり、使用済みのCDとビー玉での独楽作り、紙スプーンをつなげて紙とんぼ作り、カップとストローを使った発泡トレイ

ての風車作りなど、ひとつひとつの手作りの面白さを味わってもらいました。竹細工コーナーには東修平市長も来場し、絵筆をとられました。

その他、トランポリン、輪投げ、トンネルくぐりなどもあり、親子で楽しんでいただく1日でした。

年賀状のイラスト応募ありがとう



どんなイラストの年賀状が届きましたか?

協賛会からお礼状と図書券が贈られました。

民生委員が一人暮らしの高齢者の方々に送る年賀状のイラスト募集に、34人の小学生以下の皆さんから36作品の応募があり、6作品が選ばれ年賀状に印刷されました。(表紙に写真)

応募いただいた34人全員に、四條畷市民